

三月
京モス吾繕工場従業員組合（日本紡織労働組合加盟）昭和九年三月

関西総聯盟（大阪聯合會加盟）昭和九年七月

◇改組
京都一般労働組合 昭和八年十二月

關東化學一般労働組合 昭和八年九月

◇脱退及自然消滅
中部映畫同人組合（脱退）昭和八年十月

中國服物労働組合（自然消滅）

◇整理

全國映畫劇場従業員組合

全勞加盟の大阪、神戸、東京其の他の映畫關係を整理統一して全國的組織とす

我等は中部映畫の脱退中國服物の自然消滅を見たが、内部の強化のために積極的に組織の整理變更を斷行した、本年は神戸に於ける一千三百名のタンロップ従業員組合を始め、京モス吾繕従業員組合の日本紡織への加盟関西總聯盟の大阪聯合會への合同加盟によつて昨年度の組織人員四二、一三六名が一四四五、〇〇八名に増加を見た尙報告書作成中に日本労働同盟關東側並に一昨年の分裂當時、中立的立場を取つて來た職場あわせて約五千名の申込があつた。以上で我が同盟の組織人員は五萬となつた。

(三) 教育部

本年度の教育活動の第一期は主として大會決議による非常時當面の闘争方針の徹底化に努力して來たが、更に第十八回國際労働會議を中心としてソシアル・ダンピング問題が起るに及び、國際労働代表選出問題並びにメーデー闘争に結びつけて其の本質の暴露のために各地に演説會、研究会、茶話會等を開催し効果的に活動して來た。特に同盟本部からは菊川鈴木兩氏を各地方聯合會に派して充分の成果を納めることが出來た。

- 一、メーデー・カンパ——第十五回メーデーに際し、其の意義を徹底せしめるために全國的に研究会茶話會を開催した
- 二、夏期教育運動——全國大會を前にして七月二十七日、夏期教育活動を指令したが、各地方聯合會に於いては、それぞれの地方情勢に基いて講習會、研究会等が行はれた。特に東京聯合會は一週間に亘つて最も組織的な講習會を開催した。
- 三、労働政治學校等の活用——大阪労働學校は昨年十二月新校舍が建設されたが、全勞大阪聯合會は積極的にこれを支持し、活用した。更に日本協同組合學校、（東京）中央政治學校等に對しても聽講生を派遣し、新幹部養成のために努力して來た。
- 四、一般的教育活動——其他時局問題を中心として隨時、研究会